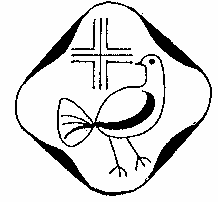


## ディボーション質問表



5月23日（日）先週一週間のディボーションをふり返ってみましょう。

1. 心に残った箇所、教えられた箇所に何か共通点はありましたか？
2. その中で一番心に残っていることは何でしょうか？
3. 教えられた事をどのように先週の歩みの中に生かされたでしょうか？ その事を誰かに分かち合ってみませんか。

24日（月）申命記 16：1～17

1. 「アピブの月」とは、麦の穂が実り始める頃で、太陽暦の3～4月です。ここには3つの祭りが記載されています。過越しと種なしパンの祭り（1～8節）。七週の祭り（9～12節）。仮庵の祭り（13～15節）。これらの祭りの時に、ユダヤ人は主の前に出るようになっています（16節）。聖霊降臨が起こった時は、この中の七週の祭りの時です。この祭りについて何が教えられているのでしょうか？

25日（火）エゼキエル書 37：1～14

1. エゼキエルが主の霊によって見せられた幻（1）は、どのようなものだったのでしょうか。この骨はイスラエルを表していますが（11）、骨はどのような状態でしょうか？
2. このところで、主の霊の働きはどのようなものとして描かれているのでしょうか？

26日（水）ヨエル書 2：28～32

1. 旧約聖書の時代には、神の霊は、特殊な任務を帯びた神の人にもみ注がれました。しかし、ここで約束されているのは、主の霊は誰に注がれると言われているでしょう。この事が最初に実現したのはいつでしょう？

27日（木）ヨハネ 16：1～33

1. 神様は弟子たちが孤独でいる間、彼らを助けるために誰を遣わされましたか（5～7節）？
2. ノンクリスチャンに対する聖霊様の働きは何ですか（8～11節）？
3. クリスチャンに対する聖霊様の働きは何ですか（12～15節）？

28日（金）コリント人への手紙第一 2：1～16

1. パウロがこの箇所で語っている知恵とは、どのような知恵ですか？ その知恵を得るためには、どうしたらよいですか？
2. 10～16節で、聖霊様の働きがどのようなものとして語られているのでしょうか？

29日（土）コリント人への手紙第一 14：1～19

1. 異言の働きは何ですか？ 異言は誰のためのものですか？
2. 預言の働きは何ですか？ なぜ、預言することを熱心に求めるのでしょうか。なぜ、異言より預言が勝っているのでしょうか？